

## 7 : リレー ( 3 / 1 2 )

競技に関する一般的な情報は、「8 : 競技情報」も参照のこと。

### 【1】選手村から競技会場への移動

- ・ 全員、選手村バスストップから競技会場まで専用バスで移動する。バスストップの場所は選手村レイアウト図(P.8)を参照のこと。
- ・ バスは06:50~08:00に順次発車する。07:20までは一走の選手を優先とする。
- ・ 競技会場バスストップまでの所要時間は20分程度である。
- ・ 競技会場バスストップから競技会場までは緑色テープ誘導徒歩約5分である。
- ・ 各宿舍とも、出発前にチェックアウトを行うこと。なお、荷物は夕方まで宿舍に置くことができる。会場には十分なスペースがないため、駅周辺の宿に宿泊した者、リレー終了後に日光市街で宿泊を予定している者はできるかぎり宿に荷物を預けてくること。置き場所については宿舍の指示に従うこと。荷物を置く場合は、貴重品は宿舍に残さないこと。

### 【2】リレー選手変更および欠場最終受付

[07:30~08:10 / 受付テント]

#### 1) 選手権の部

- ・ 選手権の部においては、オーダー用紙提出後、出場予定選手が病気・ケガにより出場できなくなった場合、裁定委員の了承が得られた場合に限り、選手変更を受け付ける。「リレー直前変更届」を受付に提出すること。
- ・ 選手権の部へ選手を補充したことにより一般の部のチームに欠員が出た場合、スプリントクラスからの補充は認めない。

#### 2) 一般の部

- ・ 一般の部については、欠場のみ受け付ける。選手変更は受け付けない。
- ・ 前日のオーダー用紙提出の後、何らかの理由で欠場することになった場合は、本部テントに以下のものを提出すること。  
リレー直前変更届  
不要となったコントロールカード
- ・ 欠員が生じたチームはリレーへの出走を認めない。残りの走者は、スプリントクラスに出場するか、観戦となる。なお、この場合も「リレー直前変更届」を受付に提出すること。

### 【3】選手権の部 e-card 配布

[07:30~08:30 / 受付テント]

- ・ 選手権の部で使用するe-cardを配布する。各大学の代表者が取りに来ること。配布の際に代表者カードを確認するので持参すること。
- ・ e-cardを紛失した場合には、本部にて再発行を受けること。

### 【4】スプリントクラス・リレー混成チーム 配布物配布

[07:30~08:30 / 受付テント]

- ・ スプリントクラス・リレー混成チームに出場する選手のコントロールカードとゴムひもを配布する。スプリントクラスは該当選手が、混成チームはチームの代表者が、それぞれ取りに来ること。

### 【5】デモンストレーション

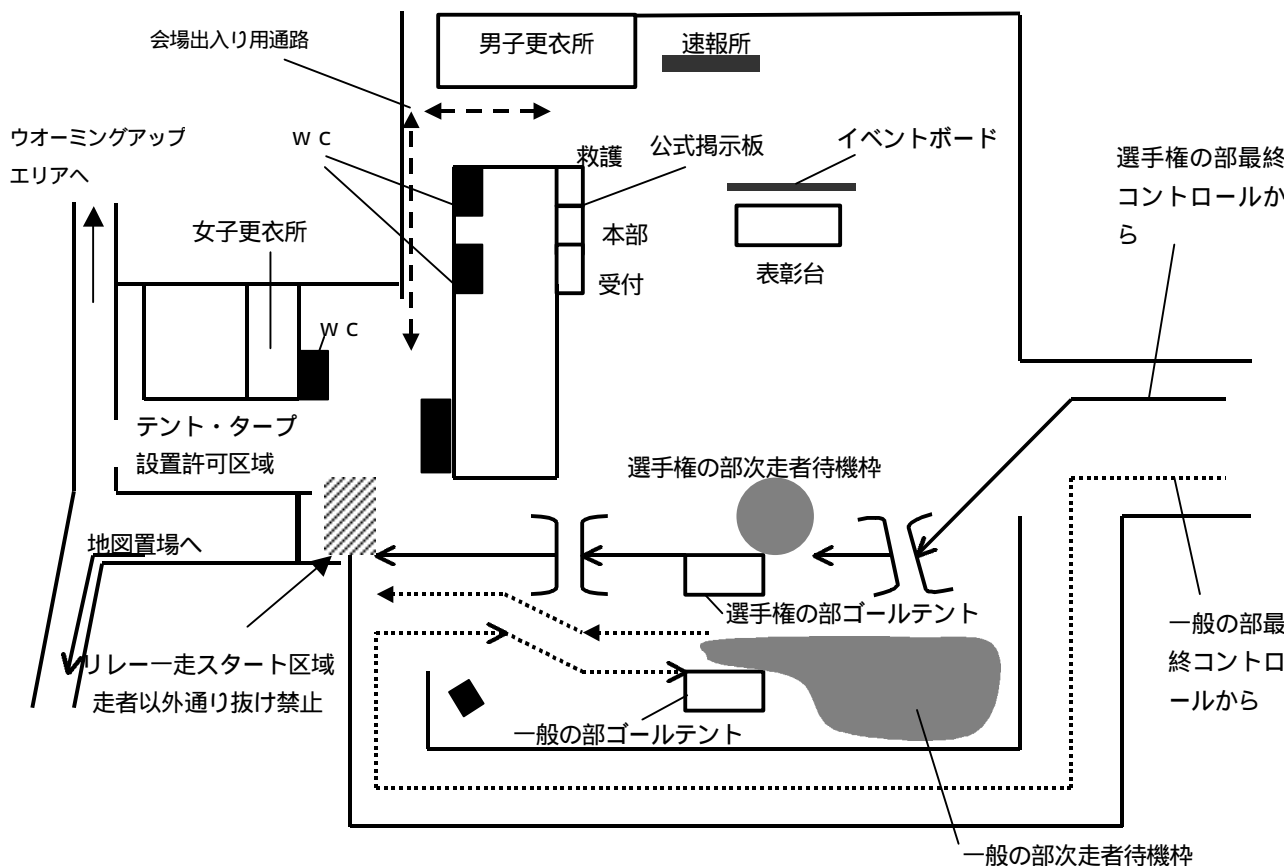
[08:30~/スタートゴール地区]

- ・ スタートゴール地区で、デモンストレーション(競技説明)を行う。
- ・ 前走者の来る方向、レーンの位置、チェンジオーバーの方法や、次走者の走る方向などが確認できる。

## 【6】リレー競技会場

### 1) 競技会場・更衣所

- ・競技会場レイアウトを下に示す。なお、レイアウト図は、当日、競技会場にも提示する。更衣所は競技会場内に用意され、荷物を置くことができる。ただし、女子更衣所には荷物を置いておくことはできない。
- ・クラブテントサイトは設けないが、テント・タープを張っても良い区域を設ける。テント・タープを張っても良い区域は下のレイアウト図は参照のこと。なお、植え込み内には絶対に入らないこと。
- ・トイレは女子更衣所隣1ヶ所と、建物内2ヶ所に設ける。校舎内はとくにきれいに使うこと。詰まった場合等は速やかに役員に申し出ること。
- ・雨天の場合、表彰式は男子更衣所内で行う。



### 2) ウオーミングアップエリア

- ・選手権の部と一般の部との別を問わず利用可能な、ウオーミングアップのできる場所を用意する。ウオーミングアップエリアはバストップ付近である。

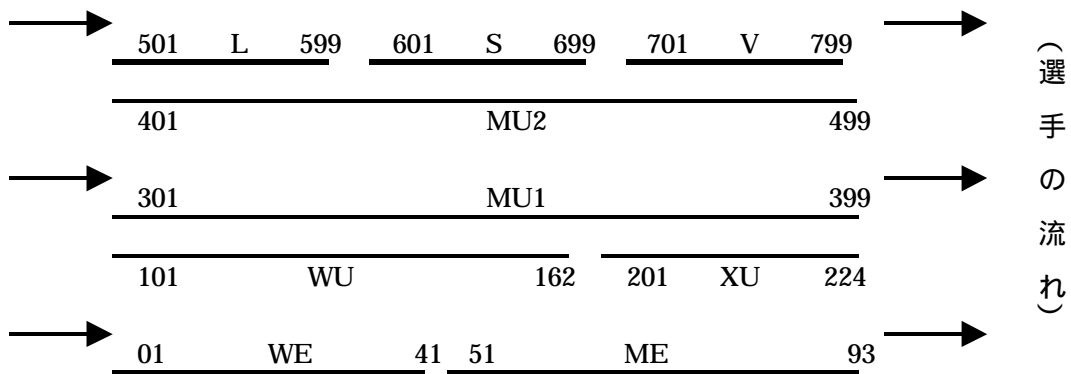
### 3) 立入禁止区域

- ・会場レイアウト図で示す会場以外は立入禁止である。ただし、ウオーミングアップエリアとそこに行くまでの道のみ立ち入り可能とする。
- ・立入禁止区域への立ち入りが判明した場合は失格とする。

#### 4) 地図置き場レイアウト

- ・地図置き場レイアウトを下に示す。

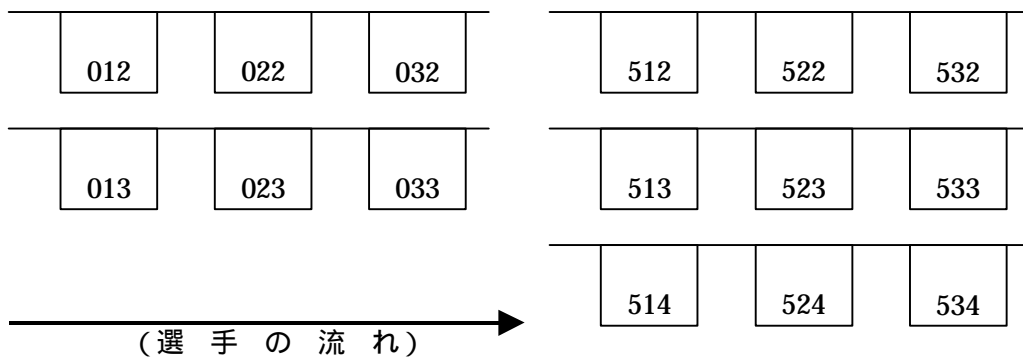
<地図の並び方>



地図はゼッケン番号がレーンの内側から見えるように書いてある

- ・地図は、内側に2つ折りにして、針金に洗濯ばさみで取り付けられている。

<地図の配置>



一般の部についても地図の並び方は上図の配置に準ずる

#### 5) 速報

- ・全クラスの速報を速報所に掲示する。
- ・選手権の部については、上位チームの選手の通過状況、順位の変動などを大型リザルトボードに掲示する。

### 【7】公式掲示板

- ・本部テントの横に公式掲示板を設置する。

## 【8】ゼッケン

リレー（スプリントクラスを含む）では、選手全員、ゼッケンを着用すること。

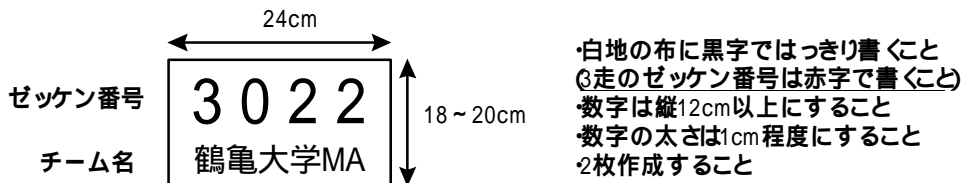
### 1) 選手権の部

- 選手権の部で使用するゼッケンは、クラシック競技終了後に行われる代表者ミーティングにおいて配布する。なお、競技中にゼッケンがはがれないように、ゼッケン1枚について6個の安全ピンを使用すること。
- ゼッケンは胸および背中の見えやすい位置に、1枚ずつ、水平につけること。また、競技中、常にゼッケンが見えるようにしておくこと。
- ゼッケンをつけていない選手、ゼッケンが服の下に隠れているような場合は出走できない。

### 2) 一般の部・スプリントクラス

- 一般の部・スプリントクラスでは、ゼッケンは各自で2枚ずつ準備すること。
- ゼッケンは、下の図に示すように、上にゼッケン番号、下にチーム名をはっきり記入すること。
- ゼッケン番号は、上3桁がチーム番号、下1桁が走順である。チーム番号は、49～50ページの「チーム番号リスト」に指定された番号を各チームに割り当てること。
- 各チーム3走のゼッケンについては、ゼッケン番号を赤色で書くこと。
- スプリントクラスは、ゼッケン番号に代えて、参加クラス（WS・MS）を記入すること。チーム名は記入しない。
- ゼッケンは胸および背中の見えやすい位置に、1枚ずつ、水平につけること。また、競技中、常にゼッケンが見えるようにしておくこと。なお、競技中にゼッケンがはがれないように、ゼッケン1枚について6個の安全ピンを使用することが好ましい。
- ゼッケンをつけていない選手、ゼッケンが服の下に隠れているような場合は出走できない。また、ゼッケンが仕様に準拠していない場合は出走を認めない場合がある。

<ゼッケンの仕様> チーム番号302の2走の場合



## 【9】リレー競技（選手権の部）

### 1) スタート

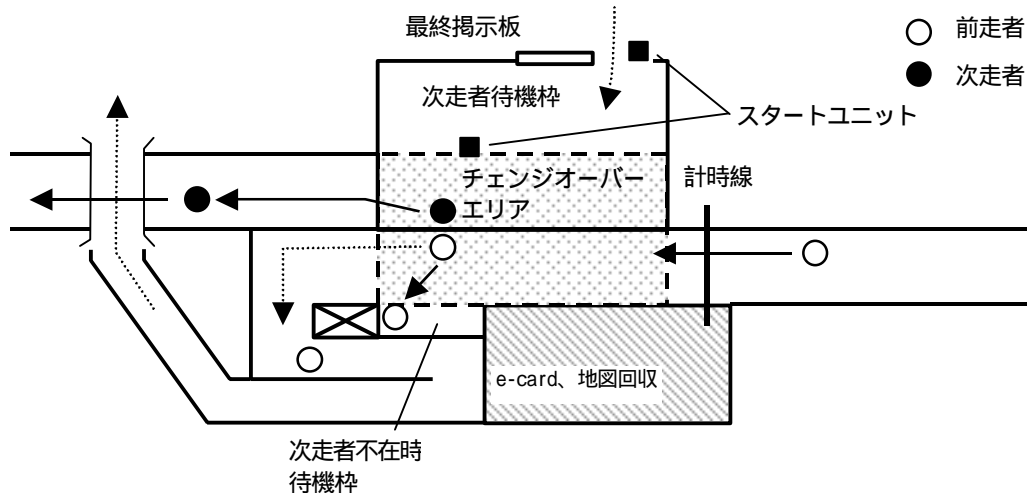
- 各クラスのスタート時刻は以下の通りである。  
ME 09:00 WE 09:10
- 各クラスとも、一走の選手はスタート10分前に一走スタート地区に集合すること。
- スタート時刻に遅刻したチーム及びゼッケン・e-cardに不備のある選手・チームは出走できない。
- 一走スタート地区では、役員の指示に従って整列すること。地図は二つ折りにして渡されるが、スタート時刻まで中を見てはならない。
- e-cardのアクティベートを行うので、役員の指示に従うこと。
- スタートはピストルの合図で行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- スタート後は、一般の部と同じ赤白色テープ誘導に従って進み、オリエンテーリングの開始地点（地図上の・スタートフラッグ）を通過しなければならない。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

### 2) 有人コントロール

- 選手の通過状況を競技会場へ伝達するために、役員が配置されているコントロールがある。ここではe-cardを提示する必要はない。

### 3) チェンジオーバー

- ・前走者が最終の2つ手前のコントロールを通過すると、ゼッケン番号が最終有人コントロール通過掲示板（最終掲示板）に掲示される。これらを確認して、次走者は次走者待機枠に入ること。なお、会場内で行われる放送では、一部のチームしか取り上げない。
- ・ゼッケン番号を確認するのは困難だが、チェンジオーバーより1分30秒～2分前に選手の通過する姿を確認することができる。
- ・最終の2つ手前のコントロールからチェンジオーバーエリアまでの所要時間は、WEで4分、MEで3分程度と予想される。
- ・チェンジオーバーエリアのレイアウト図を下に示す。



- ・次走者待機枠の入口には、スタートユニットを設置しておく。次走者は必ず e-card のアクティベート確認を行ってから、次走者待機枠に入ること。アクティベートはスタートユニットの赤ランプが点滅することによって確認される。
- ・赤ランプが点滅しない場合は e-card の故障のおそれがあるので、直ちに役員に申し出て e-card の再発行を受けること。
- ・またチェンジオーバーの前に再度 e-card のアクティベートを行うこと。
- ・チェンジオーバーは、前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合は、そのチームは失格となる。
- ・次走者が次走者枠にいない場合は、そのまま立ち止まらずに前に進み、役員にその旨を伝えること。その後、役員に e-card ・地図を渡し、指示に従って次走者不在時待機枠にて次走者を待つこと。なお、次走者不在時待機枠から次走者にチェンジオーバーを行う際には、レーンを走ってくる選手と交錯しないように十分注意すること。
- ・選手権の部の次走者待機枠には、次走者の選手とチームオフィシャルの2名以外は入ることができない。ただし、チームオフィシャルのいない学校については、他の選手権の部の競技者がチームオフィシャルの代わりをしてもよい。
- ・チェンジオーバー後、次走者は、一般の部と同じ赤白色テープ誘導に従って選手権の部地図置き場に行き、自分のゼッケン番号が記載されている地図を取ること。他の選手の地図を取っていった場合は失格となる（ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない）ので、地図を取る際に必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置き場の役員に申し出ること。
- ・地図を取った後は、さらに赤白色テープ誘導に従い、オリエンテーリングの開始地点（地図上の ・スタートフラッグ）を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

### 4) ゴール

- ・最終コントロールからは赤白色テープ誘導に従ってレーンに入り、計時線を通過する。テープ誘導は一般の部と平行する部分があるが、間違えないようにすること。
- ・計時線通過後は、次走者不在時待機枠に入る選手を除いて、他の選手を追い抜いてはならない。
- ・役員の指示に従って e-card と地図を渡すこと。提出できない場合は失格とする。
- ・地図の回収は全クラスのウムスタート終了時まで行う。
- ・競技を棄権する場合でも、必ずゴールに e-card ・地図を提出すること。これが不可能な場合は、救護所、あるいは最寄りの大会役員に e-card ・地図を届けること。
- ・ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

## 5) ウムスタート

- ・ WE、MEとも、ウムスタート時刻は13:30を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合がありますので放送に注意すること。
- ・ ウムスタート時刻10分前までに中継できなかった全ての選手は、ウムスタート選手集合時刻に選手権の部次走者待機枠に集合し、役員の指示に従うこと。ウムスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- ・ ウムスタート選手集合時刻を過ぎても、ウムスタート時刻まではチェンジオーバーは可能である。
- ・ ウムスタートの選手は、スタート後、赤白色テープ誘導に従って選手権の部地図置き場に行き、自分のゼッケン番号が記載されている地図を取ること。他の選手の地図を取っていった場合は失格となる(ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない)ので、地図を取る際には必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置き場の役員に申し出ること。
- ・ ウムスタートになったチームの記録は、参考扱いとなる。

## 6) 失格

- ・ 失格は当該校と裁定委員会によって確認され次第、公式掲示板に掲示する。失格チームは、その後のチェンジオーバーを禁止する。失格チームの残りの走者は、ウムスタート時に出走できる。

## 7) ウイニングラン

- ・ 選手権の部において、優勝が確定的な学校のみ、ウイニングラン(同チームの選手による最終走者の伴走)を行うことができる。希望する場合は、本部に申し出て許可を得ること。ただし、競技状況によっては、ウイニングランを許可しない場合もある。
- ・ 役員の指示に従ってウイニングランを行うこと。許可を受けずに、最終コントロールからの誘導区間・ゴールレーンに入ってはならない。
- ・ ウイニングラン中は、伴走者が最終走者の前を走ったり、体に触れたり、他の選手の邪魔にならないように注意すること。また、伴走者は計時線を通過後、そのまま走り抜けること。

## 【10】リレー競技(一般の部)

### 1) スタート

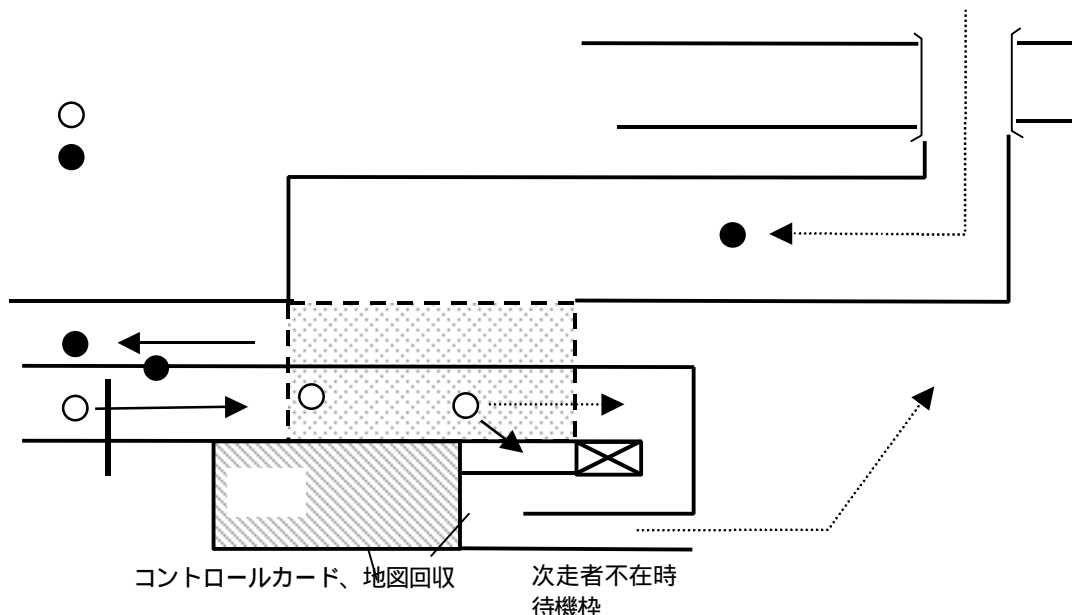
- ・ 各クラスのスタート時刻は以下の通りである。

MU1	09:20
WU・XU	09:30
MU2	09:40

- ・ 各クラスとも、一走の選手はスタート10分前に一走スタート地区に集合すること。
- ・ スタート時刻に遅刻したチーム及びゼッケン・コントロールカードに不備のある選手・チームは出走できない。
- ・ 一走スタート地区では、役員の指示に従って整列すること。地図は二つ折りにして渡されるが、スタート時刻まで中を見てはならない。
- ・ スタートはピストルの合図で行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- ・ スタート後は、選手権の部と同じ赤白色テープ誘導に従って進み、オリエンテーリングの開始地点(地図上の・スタートフラッグ)を通過しなければならない。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

### 2) チェンジオーバー

- ・ 全走者が最終コントロールを通過し、会場の周囲を走って、チェンジオーバーエリアに達する様子が会場から確認できる。
- ・ 前走者の姿が見えてからチェンジオーバーエリアまでの所要時間は、各クラスとも約1分と予想される。
- ・ ゼッケン番号の掲示・放送は行わないので、次走者は、前走者の帰還を予想して準備をし、前走者が確認できたら速やかに次走者待機枠に入ること。
- ・ チェンジオーバーエリアのレイアウト図を次ページに示す。



- ・チェンジオーバーは前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合は、そのチームは失格となる。
- ・次走者が次走者枠にいない場合は、そのまま立ち止まらずに前に進み、役員にその旨を伝えること。その後、役員にコントロールカード・地図を渡し、指示に従って次走者不在時待機枠にて次走者を待つこと。なお、次走者不在時待機枠から次走者にチェンジオーバーを行う際には、レーンを走ってくる選手と交錯しないように十分注意すること。
- ・チェンジオーバー後、次走者は、赤白色テープ誘導に従って一般の部地図置き場に行き、自分のゼッケン番号が記載されている地図を取る。他の選手の地図を取っていった場合は失格となる（ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない）ので、地図を取る際に必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置き場の役員に申し出ること。
- ・地図を取った後は、さらに赤白色テープ誘導に従い、オリエンテーリングの開始地点（地図上の ・スタートフラッグ）を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。
- ・一般の部の次走者待機枠には、次走者の選手以外入ることはできない。ただし、必要な場合はチームオフィシャル（チームオフィシャルのいない学校については、他の競技者）も入ることができる。

### 3) ゴール

- ・最終コントロールからは青白色テープ誘導に従ってレーンに入り、計時線を通過する。テープ誘導は選手権の部と平行する部分があるが、間違えないようにすること。
- ・計時線通過後は、次走者不在時待機枠に入る選手を除いて、他の選手を追い抜いてはならない。
- ・役員の指示に従ってコントロールカードと地図を渡すこと。提出できない場合は失格とする。なお、コントロールカードケースなどを使用した場合は、コントロールカードケース他、パンチ記印のついたものすべてを回収する。回収したコントロールカードケースなどは返却しない。
- ・地図の回収は全クラスのウムスタート終了時まで行う。
- ・競技を棄権する場合でも、必ずゴールにコントロールカード・地図を提出すること。これが不可能な場合は、救護所、あるいは最寄りの大会役員にコントロールカード・地図を届けること。
- ・ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

### 4) ウムスタート

- ・各クラスとも、ウムスタート時刻は12:40を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合があるので放送に注意すること。
- ・ウムスタート時刻10分前までに中継できなかった全ての選手は、ウムスタート選手集合時刻に一般の部次走者待機枠に集合し、役員の指示に従うこと。ウムスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。
- ・ウムスタート選手集合時刻を過ぎても、ウムスタート時刻まではチェンジオーバーは可能である。
- ・ウムスタートの選手は、スタート後、選手権の部と同じ赤白色テープ誘導に従って一般の部地図置き場に行き、自分のゼッケン番号が記載されている地図を取る。他の選手の地図を取った場合は失格となる（ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない）ので、地図を取る際には必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置き場の役員に申し出ること。
- ・ウムスタートになったチームの記録は、参考扱いとなる。

## 【11】スプリント競技

### 1) スタート

- ・各クラスのスタート時刻は以下の通りである。

MS 09:30 (WU・XUと同時刻)

WS 09:40 (MU2と同時刻)

- ・各クラスとも、スタート10分前に一走スタート地区に集合すること。
- ・スタート時刻に遅刻した選手及びゼッケン・コントロールカードに不備のある選手は出走できない。
- ・スプリントスタート地区では、役員の指示に従って整列すること。地図は二つ折りにして渡されるが、スタート時刻まで中を見てはならない。
- ・スタートはピストルの合図で行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。
- ・スタート後は、リレー競技と同じ赤白色テープ誘導に従って進み、オリエンテーリングの開始地点(地図上の・スタートフラッグ)を通過しなければならない。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

### 2) ゴール

- ・最終コントロールからは青白色テープ誘導に従ってリレー一般の部と同じレーンに入り、計時線を通過する。テープ誘導は選手権の部と平行する部分があるが、間違えないようにすること。
- ・計時線通過後は、次走者不在時待機枠に入る選手を除いて、他の選手を追い抜いてはならない。
- ・役員の指示に従ってコントロールカードと地図を渡すこと。提出できない場合は失格とする。なお、コントロールカードケースなどを使用した場合は、コントロールカードケース他、パンチ記印のついたものすべてを回収する。回収したコントロールカードケースなどは返却しない。
- ・地図の回収は全クラスのウムスタート終了時まで行う。
- ・競技を棄権する場合でも、必ずゴールにコントロールカード・地図を提出すること。これが不可能な場合は、救護所、あるいは最寄りの大会役員にコントロールカード・地図を届けること。
- ・ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

## 【12】競技時間・ゴール閉鎖

### 1) 競技時間

- ・各クラスの競技時間は、以下のとおりである。

WE 4時間30分 / ME 6時間

一般の部 4時間30分 / スプリントクラス 2時間

- ・上記時間を超えたチーム・選手は失格とする。

### 2) ゴール閉鎖

- ・ゴール閉鎖時刻は、選手権の部は15:00、その他のクラスは14:10とする。
- ・競技途中であっても、ゴール閉鎖時刻までにはゴールを通過すること。
- ・競技を棄権する場合でも、必ずゴールにe-card・コントロールカード・地図を提出すること。これが不可能な場合は、救護所、あるいは最寄りの大会役員にe-card・コントロールカード・地図を届けること。

## 【13】地図返却

[13:30～(予定)/チェンジオーバーエリア]

- ・全クラスのウムスタート終了後、リレーの地図を返却する。

## 【14】地図販売及び配布

### 1) 販売

[07:30～/受付テント]

- ・クラシックの地図のみ、07:30から販売する。

[13:30～(予定)/受付テント]

- ・全クラスのウムスタート終了後、リレーの地図の販売を開始する。



## 2) チームオフィシャル用・賛助会員用地図配布

[ 13:30 ~ (予定) / 受付テント ]

- ・地図販売開始以降、チームオフィシャルに(全コントロールとWEとMEのコース図および白図)を配布する。
- ・IDカードを持参すること。
- ・日本学連賛助会員には、希望のコース図をクラシック・リレー各1枚無料で配布する予定である。なお、枚数に限りがあるので、希望に沿えない場合がある。

## 【15】弁当配布

[ 10:30 ~ (予定) / 受付テント ]

- ・配布の放送がかかり次第、各校の代表者が代表者カード持参の上、弁当を取りに来ること。
- ・弁当のゴミは学校ごとにまとめて受付にて回収する。
- ・弁当配布と同時に未帰還者届用紙を配布するので、忘れずに受け取ること。

## 【16】表彰式

[ 13:40 ~ (予定) ]

- ・表彰式は13:40ごろよりリレー競技会場にて行う。雨天の場合は男子更衣所内で行う。
- ・選手権の部は上位6チーム、一般の部は上位3チーム、スプリントクラスは男女上位各1名を表彰する。なお、一般の部の各クラスにおいて、今年度初登録者のみで構成されたチームのうち最も成績の良かったチームを各クラス特別に表彰する。
- ・入賞者は掲示と放送によって発表する。入賞者は放送内容に注意し、表彰式開始までに表彰台近くに集合すること。
- ・競技会場にて花束の販売を行う予定である。
- ・リレー表彰式において、自校が表彰されているときに校歌等のBGMの放送を希望する学校は、カセットテープ、CD-RあるいはMDに録音し、ラベルに学校名を記入して、2月29日(必着)までに下記まで郵送すること。なお、カセットテープ等の返却は行わない。

式典担当：齋藤 菜緒美 (さいとう なおみ) 〒963-8039 福島県郡山市字小関谷地2-7
--

## 【17】未帰還者届提出

[ ~ 15:15 / 本部テント ]

- ・各校の代表者は15:00の時点で自校の出走者の帰還状況を確認し15:15までに、未帰還者の有無に関わらず未帰還者届を提出すること。
- ・15:00以前に出走者全員の帰還が確認された場合は、速やかに未帰還者届を提出すること。

## 【18】閉会式

- ・リレーの表彰式に引き続いて閉会式を行う。閉会式の内容は以下のとおりである。
  1. 総評
  2. 第22回インカレ実行委員長挨拶
  3. インカレ旗引継ぎ
  4. 2000年度春(第23回)インカレ実行委員長挨拶
  5. 閉会宣言

## 【19】表彰式・閉会式会場からの帰路

- ・14:30頃から17:00にかけてバストップから順次選手村(日光駅を含む)への専用バスを発車させる。役員の指示に従い乗車すること。